

平成27年度 練馬区立下石神井小学校学校経営計画

<p style="text-align: center;">学校 教育 目標</p>	<p>◎よく考える子 ○心ゆたかな子 ○たくましい子</p>	<p>＜下石神井小学校の先生方の努力＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもたちと元気なあいさつをしよう 2. 朝は、教室で子どもたちを迎えよう 3. 45分の授業を確保しよう (振り返りを活用する) 4. 週ごとの指導計画をしっかりと立てて指導しよう (評価の確認を) 5. 地域の行事には、年に数回は顔を出そう 6. 子どもの命は、全員で守ろう 7. 研究、研修への取り組みにより自らの資質向上を図ろう (子どもの心に届くものは、教師が熱意をもって教えたいと思うもののみである)
<p style="text-align: center;">目指す 学校像</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①下石神井の地に根付き、 ②愛情をもって、鍛え、支え、「よく考える子」を育てる学校づくりを経営理念とする。 ③昨今の教育改革の動きを理解するとともに、 ④人格の完成という教育の不易に軸足をしっかりと置き、 ⑤公教育としての職責を果たす。 	
<p style="text-align: center;">今年度 の 配慮点</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①学年団・専科団として学級の枠を超えた協働指導の充実 (生活指導は学年団による複数指導) ②3年に一度の学芸会の充実 ③(学級数+2)集団による算数習熟度対応指導の充実 ④担任を中心とした外国語活動の確立と全教員の共有 ⑤改築計画を踏まえた平成28年度からの3学期制に対応した教育活動の検討 	

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		高度に達成	概ね達成	保護者評価 (4項目)	児童評価 (学習・生活の評価)
I 確かな学力	わかる・楽しい・動きのある授業を実現する。	○学習規律の確立と家庭学習の定着 ○小中課題改善カリキュラムに基づく授業の充実 ○言葉の力を高める国語授業の充実	★宿題及び自主学習、読書などの家庭学習習慣を各学年・専科等が具体的内容を明示して実施する。	・1学期確立 ・2学期定着	○70%程度の児童が家庭学習習慣の確立を図られている。	・毎週継続的な家庭学習の実施する。	項目1・2	学校授業4項目 ＋ 家庭学習2項目
			★小学校教育会研究等を生かしつつ、小中大切にできる力を身に付けさせるための工夫を全授業で実行する。	・一日一授業以上点検	○一日二授業以上、意識的に実践する。	・一日一授業実践する。		
			★言葉の力を高める説明文授業を年3回実践し、記録を残す。 専科は年3回教科固有の知識・技能・考え方を重点的に実践を振り返り、記録を残す。	・全教員年間三回	○複数児童の伸びが顕著である。	・記録を整える。		
II 豊かな心	はりあいとあこがれをもつ子どもを育てる。	○道徳授業の改善 ○異年齢集団活動の充実 ○教育相談・特別支援教育の推進	★石南中道徳研究の取組を参考に、道徳の授業を展開し、学年等で交換授業を行うなど授業改善に努める。	・交換授業は年間2回以上	○内省を深めた児童の事例を3事例挙げる。	・交換授業は年間2回以上行う。	項目1	学校生活4項目 ＋ 生活習慣2項目
			★たてわり遊びやたてわり清掃・水曜集会を中心とした、異年齢集団活動・交流の充実を図り、振り返りなどを通して、自覚を促す。	・第2の学級としての常時活動	○自己の言葉で語るなど主体的に下級生をまとめ高学年児童の姿が見られる。	・リーダーとなる高学年児童への助言を毎回行う。	項目3	
			★児童や保護者の思いを受け止め、積極的に保護者の相談に応じ、いじめ・体罰等を防止し、問題行動や配慮を要する児童への対応をきめ細かく行う。(6)	・SC・心のふれあい相談員・家庭と子どもの支援員等との毎月の情報交換	○いじめを未然防止する。 ○問題行動や配慮を要する児童の安定化を図る。 ○保護者の安心化・安定化を図る。	・いじめへの迅速対応と解決に取り組む。 ・毎月、児童への相談状況を自己点検する。 ・保護者の悩みや要望等の毎月の自己点検をする。	項目4	

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策		高度に達成	概ね達成	保護者評価 (4項目)	児童評価 (学習・生活の評価)
Ⅲ 健康・体力	生涯にわたり、自己に適した運動に親しむ子どもを育てる。	○体力向上を目指した授業づくり ○日常的な運動の推進 ○実際の安全指導・対応訓練	★平成21年度本校研究内容を活用し、全学級、体力テストの結果に基づいた改善提案授業を実施する。	・改善提案授業は夏季休業後に	○複数児童の伸びが顕著であり、同学年等に追試される。	・体力テストの実態を踏まえた授業を週案に明示して実施する。	全項目について、記述形式で意見を受ける。	
			★休み時間等、進んで子どもとともに遊び、体を動かすことが身近となる環境をつくる	・週3回以上	○ほぼ週3回以上児童とともに遊ぶ。	・概ね週3回程度児童とともに遊ぶ。		
			★授業時間以外の様々な場面や想定外と思われる場面を想定した実践的な訓練を行う。	・毎月の訓練を前年と異なるように設定する。	○迅速・静粛な避難が達成される。	・概ね支障なく避難ができる。		
Ⅳ 愛校心と地域愛	地域の方と教職員が顔見知りになるなど、地域に根差した教職員となる。	○ゲストティーチャー等の活用 ○双方向の情報発信・交流 ○地域行事参加	★専門性を有するゲストティーチャーや保護者ボランティアを積極的に招聘し、感動のある授業の実現を通して、地域ふるさと意識を高める。	・各学年専科学期1回以上	○学びの深まりを示す事例を3事例挙げる。	・各学年学期1回実施する。		
			★ホームページや学校・学年・学級・専科たよりなどによって、情報発信を行う。	・ホームページ週3回程度更新 ・学年・専科だよりの月末3日前の発行	○保護者評価で最上位評定が50%以上となる。	・ホームページ週3回程度更新する。 ・学年・専科だよりを月末3日前までに発行する。		
			★地域行事に積極的に参加し、地域に根差す学校づくりに資する。	・適宜	○地域行事等5回以上の参加もしくは児童引率参加する。	・できるところで参画する。		
Ⅴ 環境整備	先を見通した教育活動の支援を図る。	○区民の期待に応える職務執行の厳正・適正化	★安全・安心・バランスの取れた食の提供、安全・安心・整理された環境づくり、重点的・効果的な予算執行等を通して、児童の心身の育成や教育活動の向上を図る。	・6月・11月・2月に効果検証	○区担当課による優良評価を受ける。	・教育活動に支障を来さない。		